

報道機関各位

2018年3月22日

CARB-X との薬剤耐性菌感染症に対する

新規抗菌薬の研究開発に関する共同研究契約の締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「当社」）は、CARB-X（拠点：マサチューセッツ州ボストン、Executive Director：Kevin Outterson）との間で共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。（CARB-X のリリースは [こちら](#)）

CARB-X（Combating Antibiotic Resistant Bacteria Biopharmaceutical Accelerator）は、ボストン大学が主導する世界最大規模の官民パートナーシップで、薬剤耐性菌感染症の革新的な治療薬・診断法の研究開発を促進するため 2016 年に発足しました。CARB-X は、米国疾病管理予防センター（U.S. Centers for Disease Control and Prevention：CDC）や世界保健機構（World Health Organization：WHO）が最優先の研究対象として指定する薬剤耐性菌を起炎菌とした感染症の新規治療薬・診断法の研究開発プログラムに対し、2021 年までに総額 455 百万 US ドルの助成を計画しています。今回の共同研究契約は、当社が研究開発を進めるカルバペネム耐性グラム陰性菌に有効な新規β-ラクタム系抗菌薬の創薬プログラムに CARB-X が 4.7 百万 US ドルを助成するもので、マイルストンの達成に応じて 2.9 百万 US ドルが追加助成されます。今回、東アジア地域では初めて当社が CARB-X の提携企業として選定されました。

薬剤耐性菌の世界的な増加を背景に、WHO をはじめ世界の国々が、薬剤耐性菌問題に関するアクションプランの中で国際協力体制を確立・強化していくことの重要性を述べています。当社は CARB-X との提携を通じて、当社の抗菌領域における低分子創薬の強みが国際的な薬剤耐性菌創薬ポートフォリオ構築の一翼を担い、患者さまや医療関係者の皆さまから必要とされる薬剤をお届けすることを目指してまいります。

当社は「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という企業理念のもと、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標に掲げ、自社研究開発に加え国内外のアカデミアや企業との連携など、社外リソースも有効に活用しています。今後も、革新的な新薬の継続的な提供を通じ、世界を感染症の脅威から守ることに貢献できるよう努力してまいります。

以上

【お問合せ先】 塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

<ご参考>

CARB-X (The Combating Antibiotic Resistant Bacteria Biopharmaceutical Accelerator) <http://www.carb-x.org/>

ASPR (Assistant Secretary for Preparedness and Response)
<https://www.phe.gov/about/aspr/pages/default.aspx>

BARDA (Biomedical Advanced Research and Development Authority)
<https://www.phe.gov/about/barda/Pages/default.aspx>

NIAID (National Institutes of Allergy and Infectious Diseases)
<https://www.niaid.nih.gov/>

Wellcome Trust
<https://wellcome.ac.uk/>

RTI International
<https://www.rti.org/>

BROAD Institute
<http://www.broadinstitute.org>

CLSI (California Life Sciences Institute)
<http://califesciencesinstitute.org>

MassBio (Massachusetts Biotechnology Council)
<https://www.massbio.org/>

Boston University
<http://www.bu.edu/>